

後援会通信「グロース」秋号

GROWTH

—大学と家庭をむすぶ—

2014 Autumn

vol.

25

リレーインタビュー 12,000の瞳、 12,000の輝き。

series 7

学生時代は、多くのことに出会い、
気づき、学んでいく成長の季節。

その姿には

一括りに語るこのできない

豊かで多彩な個性の輝きがあります。

今、興味をもっていること、

打ち込んでいるもの、将来の目標、
そして夢。

東北学院大生一人ひとりの

飾らない等身大の姿をご紹介します。



歴史学科を専攻した理由は「辻秀人先生の指導の下で学びたかったから」。高校3年の時に放映されたNHK大河ドラマ『龍馬伝』に触発され、「歴史の転換期に繰り広げられる人間模様」に興味を持ったという木村さん。ぜひ大学で学びたい、と高校の先生に相談すると「幕末もいけれど、もっと古い時代に目を向けてみては」との助言を受けました。古墳時代について調べていたところ、著名な研究者として辻先生の存在を知ります。

その念願叶って、考古学専攻・辻ゼミナールに所属。ゼミ活動の一環である灰塚山古墳(福島県喜多方市)の発掘調査(春と夏、最長3週間)に3年間参加してきました。「机の上で文献を読むよりは、断然、フィールドワークのほうが好きですね。一見すればどこにでもある山……でも、その地層の中には歴史が眠っているんです」。「古代のロマン」の解明には、木村さんのような学生パワーが貢献しています。「灰塚山古墳からは、川原石にお経が墨書された礫石経(れきせききょう)が発掘されています。これは江戸時代、自然災害などで犠牲になった方の鎮魂のためとされています」。昔の人たちの気持ちや願いに、自分なりの考えを重ね合わせるのとはとても面白い、と語る木村さん。歴史学の魅力は尽きないようです。



●3年時にはゼミ長として、発掘調査を統括した木村さん。「期間中は共同生活するのですが、みんなの意見を調整するのが大変でした」。写真は、今年8月に行った灰塚山古墳の発掘作業の様子。

文学部 歴史学科4年
木村 圭佑さん

「正解のない」歴史学。
いにしえの人びとの息遣いを感じる
フィールドワークで、自分なりの答えを探しに。



●「自分たちの活動によって、たくさんの人に喜んでもらえるのがうれしいし、やりがいや充実感もあります」と馬場さん。写真は、仮設住宅で暮らし子どもたちと一緒に工作をして遊ぶ様子。

工学部 環境建設工学科2年
馬場 康平さん

日本各地の町おこしや地域振興で、重要な役割を果たしている学生の力。そうした社会とのつながりを意識して、市民活動団体などで活躍している東北学院大生もたくさんいます。馬場さんもその一人。「多賀城市市民活動サポートセンターが発行する情報誌tag(たぐ)で、ボランティアを募集しているのを知り、早速コンタクトを取りました」。多賀城市にこだわるのには理由があります。「工学部のキャンパスがあることで出会えた街ですから、もっといろんなことを知りたいですし、まちづくりにも積極的に関わっていきたくですね」。目下の活動は、市内で開催される祭りやイベントでの運営サポート。そして、被災地ボランティアの一環として、復興に関する情報誌を発行し、仮設住宅で配布する取り組みも行っています。「東日本大震災から3年半以上経ちましたが、未だに仮設住宅での暮らしを強いられる方々とお話をすると、たくさんのストレスを抱えていらっしゃるのかわかります。私たちにできることはないかと模索し始めています」。工学部のボランティア組織を立ち上げる計画もそのひとつ。学内だけではなく、自治体と連携して有機的な組織を作り上げ、活動を定着・継続させていきたいと考えています。多賀城市を盛り上げる「若い力」に期待です！

キャンパスのある街・多賀城のためにできること。
ボランティア組織の立ち上げを計画、
若い力で街を盛り上げたい。

“社会への入口”=大学の4年間は、キャンパス内外での様々な経験を通じて、自分の潜在能力や適性を見つける期間。特にアルバイトなどの就業体験は、職業的な向き・不向きを知る好機となるようです。「2年生に進級してから、一人暮らしを始めたのですが、両親の経済的な負担を減らしたかったのと、社会経験を積むためにアルバイトを始めました」と中村さん。一年半継続して勤務しているイタリアンレストランでは、サブリーダー的な役割を担うまでに。「従業員教育にとっても熱心な会社で、営業時間外にロール・プレ



イングやケーススタディなどの研修が行われます。ここでお客様の世代に応じた接客方法やクレームへの対応を学びます。サービス業は、とても奥深いと感じます。「人見知りしない性格」、「人に喜んでもらえるのが大好き」と自己分析する中村さん。接客業に適性アリ、とは自他ともに認めるところです。そして、一人暮らしといえば自炊。「冷蔵庫にある材料で料理することが多いです。野菜の値段にも詳しくなりました。得意メニューはパスタです。アルバイト先でレシピを聞いたりして、自分なりに工夫して作っています」。時々、写真を撮って、お母さんにメール送信。「『ちゃんとしてるよー』という証拠に(笑)」。安心のメッセージですね。

●手作りのカルボナーラ。おいしそう。「黄身だけでなく全卵を、そして生クリームではなく、牛乳を使っています。コストとカロリー、両方を減らすための工夫です」と中村さん。



教養学部 地域構想学科3年
中村 遥菜さん

アルバイトを通じて見出す職業適性。
人に喜んでもらえるのが大好き、
高いコミュニケーション能力を生かせる道に。

CONTENTS

- 01 12,000の瞳、12,000の輝き。
リレーインタビュー・7
- 03 SPECIAL ISSUE [特別企画]
TG座談会：就職キャリア支援課長 ×
4年生・3年生の学生さん

- 05 後援会総会報告
- 06 地区後援会開催報告

- 07 CLOSE UP [同窓生インタビュー]
株式会社ケーケン 生産本部宮城第二製作所 飯山 雄介さん
- 09 ゼミ・研究室探訪
経営学部 経営学科 山口 朋泰 ゼミ

- 11 倶楽部拝見
ワンダーフォーゲル部
- 12 CAMPUS NEWS
東北学院大学
後援会資格取得報奨制度

- 13 学務部より
学生部より
就職キャリア支援部より

微風に揺れる木々の葉も徐々に色づき始め、秋の深まりを感じさせる時節となりました。このたび、後援会通信「GROWTH(グロース)」の秋号が完成いたしました。5月の後援会総会、7月～9月の地区後援会も無事に終え、学生が円滑に勉学や課外活動に励むための支援も滞りなく進んでおります。今後も学生の充実した大学生活のために、保護者の皆さまのご協力をお願いいたします。

TG座談会

就職キャリア支援課長 × 4年生・3年生の学生さん

新しい見方は、自分の味方になる。
柔軟に、先入観を排して、視野を広げて、
将来の道を見出そう。



昨年秋に発行した『グロース23号』では、4年生、3年生の学生とその保護者の方にお集まりいただき、就職をテーマにそれぞれの立場からの意見を交換いたしました。今回は、すでに内定を受けた4年生と、これから将来の道を見出そうという3年生と共に、就職活動について語り合いました。

本学では今年度4月より、これまでの就職課を発展させる形で「就職キャリア支援課」と名称を変え、卒業後のよりよいキャリア形成に向けた就職支援に取り組んでいます。以下の座談の中では、私が長年の経験から得た所感やアドバイスもお話しさせていただきました。どうぞ一読ください。

(2014年9月25日)



就職キャリア支援課長
土田 恵介

多様な意見を取り入れて、視野を広く。

土田 大槻さんは昨年秋、お父様と座談会においでくださいました。その折は、就職に関しては白紙ということでしたが、一年を経て、内定を勝ち取られたのですね。おめでとうございます。

大槻 ありがとうございます。去年は年末にかけて合同企業説明会に足を運んだりして、企業研究を始めたのですが、広い会場にいる学生みんながライバルだと思うと、少し焦ったり気後れしたりしてしまいました。私は、地域福祉について学んだこともあり、福祉関係の仕事に就けたらと考えていました。「福祉」というと、高齢者や障がい者に対する支援やケアとイメージしがちですが、もっと広義にとらえてみました。例えば、バリアフリーやユニバーサルデザインを考案したり、推進したりすることも福祉の一環です。直接的ではなくても、企業活動が福祉に結びついているという観点から希望する会社を決めました。

土田 齋さんは、公務員(警察官)試験を



教養学部 地域構想学科
4年生 大槻 成美さん

受けるにあたって、猛勉強されたと聞いていますが、初めから公務員志望だったのですか?

齋 決めたのは3年生の5月頃です。公務員は、試験が難しそうだという先入観がありましたし、治安を守る仕事で、自分に務まるかという不安もありました。でも、アルバイト先(クレジットセンター)で、訪問販売の被害に遭っている高齢者の案件を見聞きすることがあって、警察官という仕事を強く意識するようになりました。早速、就職キャリア支援課で勉強方法や対策、心構えを指導していただきました。就職キャリア支援課には延べ300回以上足を運んだと思います。フル活用しましたね(笑)。勉強は、一日8~11時間、本学の図書館でしました。同級生がリクルートスーツを着て、企業説明会や会社訪問に駆け回っている中、コツコツと勉強を続けるのは精神的にもしんどかったです。



経営学部 経営学科
4年生 齋 俊輔さん

土田 公務員を目指す学生さんの多くは、孤独感や焦燥感に悩まされるようですね。それを乗り越えるためにどんなことをしま



したか?

齋 同じように公務員を目指す人たちと話をしたり、現職警察官の方とお会いしたりして、モチベーションを保ちました。

土田 様々な考えや意見を取り入れる、すなわち視野を広げる努力をしたことが、功を奏したようですね。友人との情報交換は必要ですが、一方で、不安だから何でも一緒に行動する、というのは就活の本質から外れていると思います。独立独歩、自分自身の道を見つけてほしいですね。

企業研究は、イメージに惑わされずに。

土田 佐藤康伸さんは、現時点で就職に関してどう思っていますか?

佐藤(康) まだ業種や職種も決めかねていますし、今は不安しかありません。特に私たちの学年から、就職活動のスケジュールが変わるということで、心配です。

土田 以前から「大学生は学業を優先すべき」といった議論があり、政府からの要請に応える形で、経団連が(2016年卒業予定者の)就職活動時期の繰り下げを決めました。具体的には、採用情報や会社説明会などの解禁時期を学部3年生の3月に(これまでは3年生の12月)、採用選考を4年生の8月(同4年生の4月)から開始するというものです。混乱が生じないように、就職キャリア支援課でも、情報収集を行っています。佐藤真衣子さんはインターンシップ(就業体験制度)などを利用されましたか?

佐藤(真) はい、地元仙台に本社を置く製造業の企業に行きました。ここは80年の伝統があるのでそれなりの知名度はありますが、どちらかというと地味な印象のある会社です。私は日本の産業を底支えるものづくりの現場に興味があります。BtoB(企業間取引)にも注目しています。
土田 BtoBとは、よいところに着目されましたね。大学生への就職希望アンケートでは、名前の知られた大手が上位に並び

ます。そのほとんどは、一般消費者向けの製品・サービスを展開する企業(BtoC)です。片や、会社同士で取引をしていて、学生が会社名や実態を知りえない優良企業もたくさんあります。イメージに惑わされずに、アンテナを高く掲げて欲しいですね。



文学部 英文学科 3年生
佐藤 真衣子さん

佐藤(真) 企業の情報は、インターネットですぐに入手できますし、就職情報サイトをみると、煽られている感じがして焦ります。

土田 情報過多によって、心理的に圧迫されたり、迷いが深まったりすることに対しては、私も危惧を抱いています。冒頭で大槻さんが「最短距離でなくても、福祉につながっている会社」と言っておられたように、主軸となる方向性を決めれば、業界や業種も選択肢が広がるのではないのでしょうか。私としては、インターネットであれこれ検索するよりも、実際に会社を訪問してみて、自分の目や耳で確かめるアナログ式を勧めています(笑)。

ありのままの、
等身大の自尊心とともに。

土田 大槻さんと齋さんは、ご自分のどういところが評価され、内定に至ったと思われますか?

齋 インターネット上には、想定問答集や回答例など、面接テクニク的な情報があふれています。でも面接官はプロですから、取り繕っても、きっと見抜かれると思ったんですね。自分の性格の短所も含めて、正直に話したつもりです。

大槻 私は、負けず嫌いで粘り強い性格だと自分を分析していました。周りの友だちに私の印象や長・短所などを聞く“他己分析”に協力してもらったところ、同じような傾向が出たので、これは間違いないと確信しました(笑)。

土田 就職活動とは、自分のことを伝え

る場です。自己分析は、自身の価値観や行動特性を探究する手段ですから、上手に活用していきたいですね。企業が求める人物像は千差万別です。リーダーシップを発揮できる人材ばかりが求められるわけでもないでしょう。殊更に自分を大きく見せる必要はありませんが、等身大の自尊心をもって臨んでほしいですね。

佐藤(康) リーダーシップのお話ですが、私はサークルの代表として、どんなリーダーであるべきなのか、ずっと考え続けてきました。前代表はぐいぐい引っ張るタイプだったのですが、私はどちらかと言うとみんなの意見を聞いてまとめあげる調整型だと気が付きました。



経済学部 経済学科
3年生 佐藤 康伸さん

土田 自身を客観的に捉えることは、年齢を問わずなかなか難しいことですが、佐藤さんはよい経験をされましたね。就職活動では、学内外問わず、学生生活を通じて得たものを自分の言葉で伝えることが大事です。ただ採否に関しては、マッチングの結果ですし、時の運ということもありますから、採用に至らなくても、自分を否定したり気落ちしたりすることは全くありません。就職活動に方程式はありません。最後は自分を信じることです。就職キャリア支援課も万全の体制でバックアップしていきます。



次第

- 日時** 平成26年5月24日(土) 10時55分
- 会場** 東北学院大学泉キャンパス礼拝堂
- 司会** 後援会事務局長 齋藤 信二

- 開会 司 会 者
- 聖書朗読並びに祈祷 宗 教 部 長 佐々木 哲 夫
- 挨拶 会 長 丸 森 仲 吾
学 長 松 本 宣 郎
- 議 事
 - (1)平成25年度後援会庶務報告について 庶務担当理事 高 橋 祥 允
 - (2)平成25年度後援会収支決算報告並びに
会計監査報告について 会 計 担 当 理 事 小 濱 良 雅
監 事 白 木 進
 - (3)平成26年度後援会事業計画(案)について 庶務担当理事 高 橋 祥 允
 - (4)平成26年度後援会収支予算(案)について 会 計 担 当 理 事 小 濱 良 雅
 - (5)東北学院大学後援会会長の選任について 庶務担当理事 高 橋 祥 允
 - (6)その他
- 後援会役員紹介 司 会 者
- 閉 会 同 上



議長を務める丸森会長



総会の様子

泉キャンパスに、約900名の保護者をお迎えし、平成26年度の後援会総会並びに大学開放プログラムを開催いたしました。総会で審議されました内容は次のとおりです。

- 平成25年度後援会庶務報告について**
高橋祥允庶務担当理事より、役員人事、平成25年度役員会、平成25年度後援会総会並びに大学開放プログラム、平成25年度地区後援会実施状況について報告があり、原案通り承認されました。
- 平成25年度後援会収支決算報告並びに会計監査報告について**
小濱良雅会計担当理事より報告があり、原案通り承認されました。白木進監事より帳簿等が正確に整備されていることについて監査報告がなされました。
- 平成26年度後援会事業計画(案)について**
高橋祥允庶務担当理事より、平成25年度後援会総会、平成25年度地区後援会、資格取得報奨制度について説明があり、原案通り承認されました。
- 平成26年度後援会収支予算(案)について**
小濱良雅会計担当理事より説明があり、原案通り承認されました。
- 東北学院大学後援会会長の選任について**
丸森仲吾後援会長の任期満了に伴い退任されることを受け、仙台商工会議所会頭であり、七十七銀行代表取締役を務めている鎌田宏氏が次期会長に就任することが承認されました。

大学開放プログラムでは、毎年好評いただいております「学生の就職を考えるセミナー(講師:㈱キャリア・D 代表取締役社長 菅野健朗氏)」のほか、コメンテーターのダニエル・カール氏を講師に招いて「保護者と学生のための教養セミナー」を開催いたしました。会場は熱気にあふれ、盛会裏に終わることができました。



学生の就職を考えるセミナー



保護者と学生のための教養セミナー



7月～9月にかけて、北は札幌市から南は東京都までの全23地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況のご報告や個別面談などを行いました。

また、キャリアカウンセラーなどの専門の方を招いて、全地区で「学生の就職を考えるセミナー」を開催いたしました。昨今の就職状況について分析し、学生はどのように準備をしていけばよいのか、保護者はどのように関わるべきかなどに関しての内容で、保護者の方々の関心も高く、大変好評でした。次年度以降も、継続して開催していく予定ですので、保護者の皆さまのご出席をお待ちしております。

総会・地区後援会に参加された保護者の皆さまの声を一部ご紹介いたします

[総会]

- すばらしいパイプオルガン演奏をありがとうございました。とても楽しいプログラムだったと思います。オーケストラを一台で表現できる楽器の魅力を存分に味わいました。(機械知能工学科1年)
- なかなか大学に来る機会のない中、施設開放で雰囲気や様子がわかり安心しました。このような機会を設けていただきありがとうございます。(機械知能工学科3年)

[地区講演会]

- 仙台までは行けなかったため地区での後援会ならと出席させていただきました。色々お話をお聞きし、大変参考になりました。(法律学科3年)
- 大学紹介ビデオは、3つのキャンパスの紹介があり、学生の生の声や施設等が見られて良かったです。(電気情報工学科1年)
- 学生やその家族への対応が非常に親切であると感じています。まだ、1年生ですが、立派に卒業できるよう頑張らせたいと思っています。(経済学科1年)
- 就活に向けての子どもとの付き合い方、距離感の難しさを改めて感じました。子どもには本日のセミナーの内容を共有したいと思います。今後ともよろしく願っています。(共生社会経済学科3年)
- 親元を離れているので心配なことが多いです。わからないことが少しずつ理解できました。ありがとうございます。(英文学科1年)

- この様な、親・子・学校のコミュニケーションがとれる機会をどんどん増やして欲しいです。(法律学科2年)
- 就職を考えるセミナーは、大変ためになりました。来年は子どもと一緒に聞きたいと思います。(英文学科2年)



盛岡会場の様子

後援会では、在学生の円滑な学生生活と大学の充実発展に寄与するため、“大学と家庭をむすぶ”をモットーに、各種事業を展開し、以下のような助成をおこなっております。

体育会、学生会、文化会等の課外活動団体への助成

東北学院大学各種奨学金への助成

震災支援特別助成
東日本大震災緊急給付奨学金への助成

保健衛生に対する助成

就職活動に対する助成
各種イベントの開催
●合同企業セミナー
●保護者のための就職セミナー
●職業人によるトークイベント
●エントリーシート添削講座
●面接フォローアップ講座 など

東北学院大学後援会資格取得報奨制度

※12ページをご参照願います



日本の威信を懸けた、その先に。

仕事の合間を縫って練習に励み
掴み取った世界大会メンバー。

今年7月、パリで開かれた第2回世界弓道大会。その名が示す通り、世界の頂を競う舞台に本学OBの姿があった。銀士5段の腕前を持つ飯山さんは、東北からただ一人、日本代表の団体メンバーに選出された。当初は興味本位で中学から始めた弓道歴も、早19年。世界大会のメンバーに選ばれるからには、さぞ弓道にすべてを懸けてきたと思いきや、ところが、社会人になってからは仕事優先。慌ただしさから、弓を引けるのは週に多くても3回程度だという。「大学卒業後は岩沼市の竹駒弓道会に縁があり所属したんですが、その頃から世界を視野に入れていた訳ではありません。仕事がありますし、家族もいますし、国体に参加したのも2009年から。その翌年に第1回の世界弓道大会が開かれたんですが、そんな大会があったんだ、という程度の知識しかなかったんです」。実はこの第1回大会に参加したメンバーの一人は、飯山さんの高校時代の恩師。当然、優勝候補の大本命だった日本だが、結果はよもやの予選敗退。そういう意味で第2回大会は、日本の威信を懸けた決戦であり、飯山さんにとっては恩師の雪辱を晴らす舞台でもあった。「でも、ここまで辿り着くにはアクセシビリティが重なりまして。宮城ブロックの選考会前、そして全国代表を選ぶ際に子どもが入院…。なかなか思うように練習できませんでした。どうにか世界大会の選考会に進んで、メンバーに選ばれた時は、オレでいいの？っていうのが正直な感

想で」。そして幕を開けた世界大会。飯山さんは日本から遠く離れたパリで、無類の勝負強さを見せつけることになる。

課せられたのは「優勝」の2文字。
的に対して攻め続け、弓を射る。

「若干ではあるけれど、アウェーな感じもした」という決戦会場。上から下された指令はただひとつ、優勝。しかし飯山さんは不思議とプレッシャーを感じなかったという。「自分以外のメンバーが信用できる方ばかりでしたし、本番前にフランス大使館での演舞や強化練習を重ねて、場に慣れる準備も進めてきましたから。違和感なく入り込みましたね」。日本は予選で12本中10本を的中させ、見事トップ通過すると、決勝トーナメント初戦では、他の競技の延長戦に当たる同中競射の末にスウェーデンに勝利。準決勝ではドイツを10-4で圧倒すると、勢いをそのままに決勝でも連覇を狙った地元フランスを破り、日本の悲願を果たした。準決勝、決勝で4本すべてを的中させ、MVP級の活躍を見せた飯山さんだが、優勝の喜びの反面、海外の選手たちの姿に、ある感覚を覚えたという。「実は海外の人のほうが、日本人よりも武道の心を大切にしているのではないかと。誠の心といいますか、本来我々のほうが大事にしなければいけないものに、気づかされた大会でもありました」。学生時代から未だ成し遂げたことのない日本を飛び越え、世界一の座を掴んだ。けれど、まだまだ究めるべきことは山ほどある。改めて弓道の奥深さを知った飯山さんは言う。「自分にとって弓道は、求道なのだ。「所作なり、作法なり、突き詰めていくとまだまだ今の自分には足りないものばかり。世界大会はこれで終わり、という考えはまったくありませんし、常に安定して的中できるように腕を磨くと同時に、誠を尽くす日本の心を大切にしていきたいですね」。



誠の心で、世界を射る。



株式会社ケーヒン 生産本部宮城第二製作所

飯山 雄介 さん

栃木県立鹿沼東高校から東北学院大学工学部電気工学科に入学。2004年4月にケーヒン入社。現在、竹駒弓道会に所属し、国体出場も多数。

世界弓道大会

4年に一度開催される世界規模の弓道大会。2010年に第1回が開催され、飯山さんがメンバーに選出された2014年大会は第2回目。21カ国が参加し、予選・決勝トーナメントを通して3人が4本ずつ矢を放ち、的中数を競う形式で行われた。



その数字は、 経営者の胸の内を語る…。 興味深き財務会計の世界。

経営学部 経営学科 山口 朋泰 ゼミ

財務会計の知識があると、
経済ニュースの深読みが
できますよ。

山口 朋泰 准教授 / 1999年福島大学経済学
部卒、2011年東北大学大学院経済学研究科
博士課程後期修了。博士(経営学)。2011年4
月東北学院大学経営学部経営学科講師、
2012年4月より現職。専門は財務会計論。
[受賞]2007年東北経済学会学会賞、
2010年財団法人経和会記念財団 優秀論
文賞、2011年東北大学 総長賞、2011年日
本管理会計学会 学会賞(奨励賞)、2014年
International Conference on Accounting and
Information Technology Best Paper Award

簿記はスポーツだ。 反復トレーニングと負荷アップで、 知力を鍛える、実力を蓄える。

1年次の「商業簿記」、2年次の「財務会計論」、3年
次の「連結財務諸表論」の授業(専門教育科目)を担
当しています。入学間もない学生さんの志は非常に
高く「検定・資格を取るために入りました!」とやる気
に満ちているのですが、いざ学び始めると、商業高
校出身者以外には馴染みのない専門用語と数字の
羅列で意気消沈してしまうようです。

教える側としては、イラストを多用したテキストを

～最近、新聞紙上やテレビCMで
「NISA(ニーサ)」という言葉を見聞き
されることがあるかと思います。これは、
今年の1月から始まった「小額投資非課
税制度」のことで、株や投資信託(投信)
などの運用益や配当金つまり収益の
一定額を非課税にする制度です。投資
対象としての企業が元気なのか、不調な
のか、いわば健康状態を読み解くカギと
なるのが「貸借対照表・損益計算書・
キャッシュフロー計算書」などの財務諸
表です。こうした会計情報を企業外部の
利害関係者に提供することを目的とする
のが「財務会計」です。「この数字だけ
の世界から、経営者の意図や思惑など、
実はいろいろなことが見えてくるのだ」と
山口先生は語ります。～

採用し、難しいところはかみ砕いて説明して、なんと
か興味を持続してもらえるような工夫をしています。
というも、私も学部1年生の時に、簿記の単位を落
としている苦い経験があるからなのです。当時は税
理士になるという目標がありましたから、これではダ
メだと一念発起。2年生に進級してからの3カ月間、必
死の独学で日商簿記2級を取得しました。

脳を活性化させると言われる「脳トレ」が流行して
久しいですが、簿記もスポーツと同じです。日々の反
復トレーニングをベースに、理解/習熟に応じて難
易度の負荷を上げていくことで、自身の能力・スキル
が養われていきます。もちろん大学特有の、自ら求め
て学び探究する姿勢が前提となります。

日商簿記1級、税理士や公認会計士の資格は非常
にハードルが高く、大学以外の学び(独学や専門学
校とのダブル・スクール)、あるいは大学院への進学
が必要です。意欲を継続させる助けになれば、とゼ
ミ生に希望を募り、勉強会を実施しています。彼らは
8月に税理士試験の簿記論に挑戦しましたが、やは

り苦戦したようです。税理士試験は、科目合格制度
を採用しているの、在学中に1科目でも取得してほ
しいと願っています。私も、学生さんの熱意とやる気
に最大限応えていきたいですね。

“成績表”を自分で書き換えられる?! はい、法律の枠内ならOKなのです。

大学卒業後の7年間は高校教員として、福島のいく
つかの商業高校で教鞭をとりました。生徒の成長を
間近で見守ることのできる仕事は、とても有意義で
やりがいに満ちたものでしたが、30歳を目前に、何か
新しいことにチャレンジしたいという気持ちが沸き上
がってきました。そこで大学院修学休業制度(教員
を休業し、国内外の大学院でその課程を履修できる
制度。専修免許状が取得できる)を利用して、大学院
前期課程(修士課程)に在籍しました。

ここで出会ったのが「財務会計」です。株主、債権
者、投資家など企業外部のステークホルダーに向け
て会計情報を開示する財務会計は、片や経営者や
部門管理者など組織内部に対して情報を提供する
「管理会計」とは内容が異なります。企業が行う会計
報告には、会社法、金融商品取引法、法人税法といっ
た法律による規制(報告のルール)があります。

私は小中学生の折、学校からもらった成績表を
「自分で書き換えたい!」と思ったりしたのですが
(笑)、財務会計を学ぶ中で、非常に興味を引かれた
のは、経営者は自分に有利になるように意図的な利
益の調整(=利益マネジメント)をある程度行える
という点です。もちろん前述の法律の枠内ということ
ですが、経営者は自分の成績表でもある財務諸表の数
値を自ら操作できるのです。そこにはどんな動機が
あって、どのような戦略に向けて、どういった方法で
行うのか……企業活動は人間の営為でもありますか
ら、様々な心理が働きます。一般に、経営者は自身の
報酬を高めるため、自身の地位を保持するため、ある
いは自社の株価を維持するためなどの目的で利益を



↑2013年イタリア・シエナで開催された
国際学会に出席した折に立ち寄った
「マンジャの塔」にて。高さ102mのレンガ造りの
塔からはシエナ市街をはじめ、トスカナの
田園風景まで見渡すことができます。

ゼミ生と懇親会にてピース!
教室ではうかがい知ることのできない
お互いの“素顔”を垣間見られるひととき。



増やす動機があり、節税などの目的で利益を減らす
動機があるといわれています。企業の実際の財務
データを用いて、経営者による利益マネジメント行動
を実証的に解明することが、私の研究テーマです。い
まだ明らかにされていない経営者の利益マネジメン
トの方法や動機を探り、新たな発見をすることに大
きなやりがいを感じています。

財務会計を面白いと感じる視点を持ち得たこと
が、研究者としての道を拓ききっかけとなりました。学
生のみなさんにも大学4年間で、興味と関心を抱き
続けることのできるコトやモノにたくさん出会ってほ
しいと願っています。

MY FAVORITE



2011年秋の「やくらい高原マラソン大会」での
様子。10kmに出走してタイムは44分33秒(そ
る目ですな)。成年男子二部で25位という好成
績でした。

← 私のお気に入り

2年前からスポーツクラブ通いを始めました。
週に1回、2~3時間かけて、有酸素運動→無
酸素運動→有酸素運動と繰り返し、汗を流し
ます。私の研究は、現場に飛び出して調査す
るフィールドワーク的なものではなく、文献
に当たったり、パソコンで執筆したり、議論し
たり…と机上で長く深く考え続けなければな
らないものです。自動車に例えると、ニュートラルでアクセルを限界まで踏み込んで
いるような状態でしょうか。オーバーヒートしそうです(笑)。体を動かすことはスト
レスコントロールにもつながりますし、頭がクリアになるという効用もあります。お
かげでメタボとも無縁。体力・走力試しに、時折マラソン大会にも参加しています。い
つかはホノルルマラソン(米国ハワイ)に出たいですね。



8月 夏合宿にて
槍ヶ岳山頂で記念写真

かつて世界最高峰の登頂に挑んだ登山家が、こんな名言を残した。「そこにエベレストがあるから」。山を主な活動範囲に置くワンダーフォーゲル部のメンバーは、少なからずその言葉へ共感を寄せる。「登山をするたび、こんなに辛いなら入るんじゃないかって思うんですが、達成感や山頂からの景色が忘れられなくて、結局また登っちゃうんですね。一種の中毒のよう

なものかもしれません」。女性ながら部員23人をまとめる主将の五十嵐さんもまた、山の魅力に引き込まれた一人だ。

ワンダーフォーゲル部では登山シーズンの春から秋にかけ、主に土日を利用して部員総出で登山に向かうという。長期休暇中には一週間かけて難易度の高い山域に挑んだり、ある時は西表島まで出かけたりと、活動は実にアクティブ。そこで大切にしているのは、必ず目標を掲げること。競技と違い勝敗はないが、その都度、登る理由を明確にした上で、安全かつ楽しいルートを計画している。また、山に危険はつきもの。傷の手当ての仕方や天候の読み方などの講習会も積極的に開き、行動の決定権を預かる身として、部員の登山に関する知識と経験値を高めるように努めている。

近年では「山ガール」という言葉もよく見かけるようになったが、登山の魅力も厳しさも知る五十嵐さんに言わせると「実際

はそんな可愛いものじゃない」らしい。見上げることは簡単だが、眼下に開ける景色を眺めるためには、自分の足で登らなければ叶わないのが、山。仲間と一緒に富士山に挑むことが、学生時代の最終目標だという彼女に、最後に訊いた。「何故、山に登るのか」。ちょっと間を置いて返ってきた言葉は、こうだった。「そこに山があるから」。



主将
五十嵐 絢さん
(経済学部 経済学科3年)

東北学院大学後援会資格取得報奨制度が始まりました。

「東北学院大学後援会資格取得報奨制度」は、資格取得の奨励と学生の資質向上を目的として、後援会費を納入いただいている現役の大学院生、学部生を対象に、在学中の国家資格取得者やTOEIC、TOEFLなどの基準点取得者へ、資格取得報奨金または図書カードを給付する制度です。

東北学院大学後援会資格取得報奨制度規程

平成26年4月25日制定

【趣旨】

第1条 この規程は、東北学院大学(以下「本学」という。)の学生(「大学院生を含む。」以下同じ。)の在学中における資格取得の奨励を促し、本学学生の資質向上に資することを目的とした資格取得報奨制度に関し必要な事項を定めるものとする。

【対象資格】

第2条 資格取得報奨制度における報奨金の支給対象は、次の各号に掲げる国家資格等のうち、本学在学中にいずれかの資格を取得又は一定の基準点をクリアした学生を対象とする。(ただし、教育職員免許状等大学のカリキュラム上取得できる資格を除く)。なお、次に記載されていない国家資格等に関しては、東北学院大学後援会事務局会議にて審議のうえ決定することとする。

- (1) 司法試験合格者、公認会計士、税理士、弁理士、司法書士、第一級総合無線通信士、システム監査技術者、ITストラテジスト ほか
- (2) 中小企業診断士、行政書士、社会保険労務士、気象予報士、土地家屋調査士、不動産鑑定士、測量士、知的財産管理技能検定1級、通訳案内士、一級総合無線通信士、ITサービスマネージャ、一級陸上無線技師、環境計量士、情報セキュリティスペシャリスト、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、応用情報技術者、総合旅行業務取扱管理者 ほか
- (3) 通関士、宅建取引主任者、インテリアコーディネーター、エネルギー管理士、放射線取扱主任者、一般計量士、公害防止管理者(大気)、知的財産管理技能検定2級、基本情報技術者、管理業務主任者、一級造園施工管理技士、社会福祉士、危険物取扱者(甲種)、技術士補 ほか
- (4) TOEIC(合計730点以上)、TOEFL(当該年度試験の平均点以上)、英検1級、日商簿記1級

※1. TOEFLの基準点については、申請前に必ず国際交流課で確認のこと。
※2. TOEIC、TOEFLの申請については、在学中1回とする。

【申請方法】

第3条 本学在学中に、前条に規定する国家資格等を取得した学生は、就職キャリア支援課(各キャンパス就職キャリア支援係)備付の申請用紙に必要な事項を記入のうえ申請するものとする。

【報奨制度の給付額】

第4条 資格取得報奨制度における給付額は、取得した国家資格等の合格難易度に応じ、次のとおり定める。

- (1) 第2条第1号に規定する国家資格取得者には、現金20万円の資格取得報奨金を支給する。
- (2) 第2条第2号に規定する国家資格取得者には、現金10万円の資格取得報奨金を支給する。
- (3) 第2条第3号に規定する国家資格取得者には、現金5万円の資格取得報奨金を支給する。
- (4) 第2条第4号に規定する基準を達成した者には、報奨として3万円の図書券を支給する。

【支給の時期】

第5条 資格取得報奨金の支給時期は、毎年2回の役員会(4月・12月)終了後とする。

【事務】

第6条 資格取得報奨金に関する受付業務は、就職キャリア支援課において行い、事務の取りまとめは後援会事務局がおこなうものとする。

【改廃】

第7条 この規程の改廃は、後援会事務局会議の議を経て後援会役員会の承認を得るものとする。

附則(平成26年4月25日)

1. この規程は、平成26(2014)年4月25日に施行し、平成26(2014)年4月1日から適用する。
2. 在学中であっても、平成26(2014)年4月1日以前に取得した資格の遡及適用は行わない。

学務部より

成績表郵送

学務部長

千葉 昭彦

昨年度の後援会総会の席で、「ウチの子どもの兄弟が通う他大学では、成績表が郵送されてきているが、東北学院大学では保護者に郵送しないのか?」と言った問い合わせがありました。ただ、これまで本学では保護者への成績表の郵送は、希望する場合に学生を通じて大学に申し出ていただくようにしていました。これは、学生を大人として扱い、そのプライバシーを尊重するなどの理由によるものです。

とは言え、昨今の学生気質や教育への保護者の方々の関わり方などを考慮した場合、これまでの対応を変更した方が良いのではないかの結論に達しました。そこで、今年度の前期成績表から原則として全学生の保護者に郵送することとし、何らかの事情で郵送を希望しない場合には大学にお申し出いただくことにしました。

本学の学生中退の割合は、他大学と比べて高い訳ではありませんが、その理由には、経済的困難の他に学業成績に由来するものが一定割合で見られるのも事実です。そして、このことは理由として大きくなる前に対応することが可能なこともあります。

成績表から各学生の大学への通学状況や勉学への取り組み方などが見えてきます。大学でも、各学部・学科や学務関係の窓口等を通じて履修指導を行っています。各ご家庭でも学生に大学生活や勉学の状況、さらには将来の希望などを問いかけていただければと思います。成績表は各授業の合否や点数が記載されているだけですが、この郵送を通じてご家庭と大学がより緊密に連携し、ひとりひとりの学生生活の支援をしていければと考えています。

学生部より

マナーの遵守

学生部長

石塚 秀樹

充実した学生生活を送る上で、マナーの遵守は不可欠です。

車、バイクに乗るものは法令、交通マナーを守り安全運転を心がけます。大学周辺での路上駐車は近隣住民に多大な迷惑をかけます。また、違法な駐輪も歩行者の迷惑になるだけでなく、危険でもあります。

飲酒に関しても注意が必要です。未成年者の飲酒は禁止されています。成人になったからといって、無鉄砲な飲酒や、アルコールハラスメントと呼ばれる飲酒の強要は、人命に関わることもある重大事です。

タバコが健康に悪いことは言うまでもありません。タバコは、喫煙者だけではなく受動的に吸わされる非喫煙者にも多大な迷惑をかけます。大学は、昨年4月1日からキャンパス内全面禁煙となっています。しかし、喫煙者の中には、構内に入る前に吸ってポイ捨てるようなエチケット違反の者もいます。

そして、最近ではSNSを利用して無自覚な発言、行動をウェブ上に載せるという危うい行為が散見されるようになりまし。このような行為は大学の品位が問われるだけでなく、良識ある学生に迷惑がかかることにもなります。

さらに、危険ドラッグの問題も学生たちに無縁ではなくなっています。仙台でも、危険ドラッグの事故が見られたように、このような薬物には絶対に近づかないことが大切です。

大学生は自由度が高い分、その分危険な因子に触れる度合いも増えます。マナーを守り、節度ある生活の中で、大学生を楽しんでください。

就職キャリア支援部より

「就活解禁の後ろ倒し」について

就職キャリア支援部長

前田 修也

就職活動(就活)解禁及び選考開始時期が大きく変わります。現行(現4年生)では、企業説明会の開始(いわゆる就活解禁)は3年次の12月からで、内々定が出る選考開始は翌年の4月からとなっています。しかし、2016年卒学生(現3年生)からは、企業説明会の開始が3カ月後ろ倒しの3年次3月からとなり、選考開始の時期も8月からとなります。

今回、このようなルールになったのには、いくつかの事情があります。その一つは、就活の長期化に歯止めをかけ、学生が本分である学業に専念する時間を増やしたい、という大学側の要請です。欧米の大学生に比べると、日本の大学生の学修時間が少ないことは、よく引き合いに出されます。4年制大学のカリキュラムでは、3年次の授業が最も専門的で充実した内容になっています。この3年次の授業が終了してから就活しなさい、という趣旨はそれなりに説得力を持っています。

しかし、選考の期間が極端に短縮されるので、企業側にとっても学生にとっても、短期間で決着をつけなければならないというプレッシャーが生じます。その結果、じっくりと腰を据えた就活期間をとらずに大事な将来を決めなければならないという焦りに繋がる危険性があります。

このような就職環境の変化に、保護者のみなさんはどのように対応したらよいのでしょうか。

本学就職キャリア支援部では、昨年度から「保護者のための就職セミナー」を開催しております。学生に一人で就活を戦わせるのではなく、保護者と大学が一体となって側面から支援してまいりましょう、という趣旨

で始められました。初年度は400名以上の保護者が参加し好評を博しました。今年度は、11月22日(土)に泉キャンパスで開催します。3年生のお子さんを持つ(工学部を除く)保護者全員に対して、すでにご案内を送付していますが、改めてこの紙面を借りてご案内いたします。奮ってご参加くださるようお願いいたします。

後援会ホームページのご案内

東北学院大学後援会のホームページでは、後援会の最新情報をお届けするほか、後援会総会・地区後援会のご案内、後援会通信のバックナンバーなど随時更新いたします。



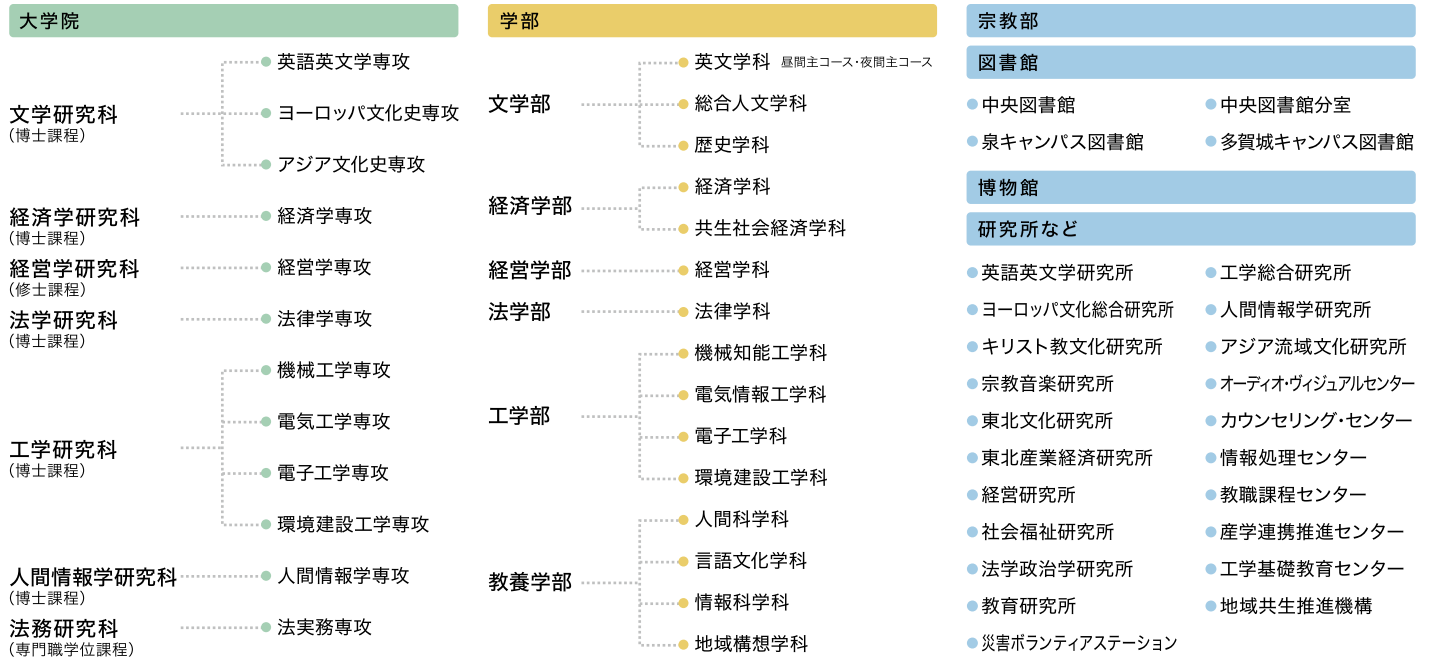
<http://www.tgu-kouenkai.org/>

任期(平成26年～平成28年)

- **会長** …… 鎌田宏(仙台市)
- **副会長** …… 三島卓郎(仙台市)・後藤久幸(仙台市)
- **庶務担当理事** …… 高橋祥允(仙台市)
- **会計担当理事** …… 小濱雅雅(仙台市)
- **理事** …… 寒河江満子(仙台市)・佐久間敬子(仙台市)・村山令記(仙台市)・齋藤靖(仙台市)・今野文昭(仙台市)・庄子真由美(仙台市)・武内宏之(石巻市)・桂久(札幌市)・成田智典(青森市)・松本宏(八戸市)・小野寺久美子(秋田市)・深澤禎彦(横手市)・工藤敏納(盛岡市)・及川和夫(北上市)・浦島康弘(大船渡市)・金子泰雄(山形市)・鈴木信一(酒田市)・國分容子(福島市)・只野裕一(相馬市)・福井丈夫(新潟市)
- **監事** …… 白木進(仙台市)・浅野ひとみ(仙台市)・菅野雅之(仙台市)
- **顧問** …… 松本宣郎・星宮望
- **参与** …… 佐々木俊三・斎藤誠・辻秀人・原田善教・菅山真次
高木龍一郎・中沢正利・佐久間政広・佐々木哲夫・日野哲
千葉昭彦・植松靖夫・石塚秀樹・前田修也・中川清和
楊世英・日野望
- **事務局長** …… 齋藤信二
- **事務局員** …… 小松隆・佐藤光男・丹野光雄・横山伸一・小原武久
二階堂哲・土田恵介・菅井研・水野徹・渡邊義春
廣瀬理行

ORGANIZATION 教学組織図

平成26(2014)年4月1日現在



東北学院大学

<p>土樋 キャンパス</p>	大学院：文学研究科、経済学研究科、経営学研究科、法学研究科、法務研究科 学部：文学部・経済学部・経営学部 法学部(各3・4年)、夜間主コース 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6421(総務課) fax 022-264-3030(//)	<p>多賀城 キャンパス</p>
<p>泉キャンパス</p>	大学院：人間情報学研究科 学部：文学部・経済学部・経営学部 法学部(各1・2年)、教養学部 〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1 tel 022-375-1121(庶務係) fax 022-375-4040(//)	

東北学院大学後援会通信 GROWTH (グロース) vol.25

■本誌に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

発行日/平成26(2014)年10月

編集/東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)

発行/東北学院大学後援会 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6411 fax 022-264-3030

E-mail kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp URL http://www.tgu-kouenkai.org/

印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社

○GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙一3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に視されつつ大きく成長するようという期待が本誌に込められています。

【本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

【「個人情報保護法」への取り組みについて】平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたに伴い、東北学院大学後援会では個人情報の取り扱いについて、学校法人東北学院が制定した「学校法人東北学院個人情報保護規程」にのっとり、個人情報の適正な管理と保護に努めています。後援会事務局では、東北学院大学後援会の運営に必要な皆様の個人情報をお預りしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。なお、後援会事務局で使用する個人情報の利用目的は次の通りです。

- 「保護者のための大学ガイド」並びに「後援会通信「グロース」」の発行・送付
- 「後援会総会」並びに「地区後援会」の案内
- その他、上記に関連する業務



GROWTHは、地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインクを使用して印刷しています。